

令和4年度

日南町 各自治会 みんなの人権・小地域懇談会

ドキュメンタリーDVD鑑賞

## 「 荒野に希望の灯をともし 」

～ 医師・中村哲 現地活動35年の軌跡 ～

期間：令和4年7月～5年3月

時間：適宜

会場：各自治会会場

### 1. 開会行事

○開会宣言      ○開会挨拶      ○推進者紹介      ○日程説明

### 2. 導 入

○趣旨説明・作品紹介

### 3. ○意見交換・感想

### 4. コメント

○人権センター 人権教育サポーター

### 5. アンケート

### 6. 閉会行事

○閉会挨拶

各地域同和教育推進協議会・各まち協・各自治会

日南町同和教育推進協議会・日南町

## みんなの人権・小地域懇談会の流れ

1. 開会行事 (5分)
  - ①開会宣言 (自治会役員・センター事務長・推進班長等)
  - ②挨拶 (自治会長・地域同和教育推進協議会会長等)
  - ③推進者紹介(町職員、人権教育サポーター)・日程説明
  
2. 導入 (5分) 趣旨説明・作品紹介 (人権センター)
  
3. ドキュメンタリーDVD 鑑賞 (1時間30分)  
「荒野に希望の灯をともす」  
～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～
  
4. 意見交換・感想 (20分)
  
5. まとめ (10分)  
人権センター
  
6. アンケート記入 (5分)
  
7. 閉会行事 (5分)  
○閉会挨拶 (自治会長・地域同和教育推進協議会会長等)

## 話し合いのルール(3つの約束)

**参加** 積極的に参加しましょう。

自発的に話し合いに参加しましょう。特に、しっかり聴く姿勢を心がけましょう。もちろん、内容によっては「話さない」「パス」という選択もあります。

**尊重** 一人ひとりの考えを尊重しましょう。

どのような意見や発言も批判や否定をしないで傾聴しましょう。参加者一人ひとりの考えや思いが尊重されると、安心して話し合うことができます

**守秘** 参加者の発言内容など個人的な情報は守りましょう。

お互いの信頼がなければ話はできません。参加者個人の情報は、その場において帰り、他人に話したりしないようにしましょう。

### <今回のプログラムについて>

#### ドキュメンタリーDVD 「荒野に希望の灯をともし」

～ 医師・中村哲 現地活動35年の軌跡」～を鑑賞いただいて、感想や意見を交換します。

#### 【作品紹介】(DVD パッケージから)

アフガニスタンとパキスタンで35年にわたり、病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々に寄り添いながら命を救い、生きる手助けをしてきた医師・中村哲。NGO 平和医療団日本(PMS)を率いて、医療支援と用水路の建設を行ってきた。活動において特筆すべきことは、その長さだけでなく、支援の姿勢がまったくぶれることなく、一貫されていた

たことだ。一連の活動は世界から高く評価され、中村医師は人々から信頼され、愛されてきた。今、アフガニスタンに建設した用水路の水が、かつての干ばつの大地を恵み豊かな緑野に変え、65万人の命を支えている。

しかし、2019年12月。用水路建設現場へ向かう途中、中村医師は何者かの凶弾に倒れた。その突然の死は多くの人々に深い悲しみをもたらした。だが、一方で私たちに強く問いかけもする。中村医師が命を賭して遺した物は何なのか、その視線の先に目指していたものは何なのか。中村医師が遺した文章と1000時間におよぶ記録映像をもとに、現地活動の実践と思索をひも解く。

[朗読]石橋 蓮司 ・ [語り]中里 雅子

[企画]パシヤワール会 ・ [制作]㈱日本電波ニュース社

【 中村 哲(なかむら てつ・1946年～2019年) 医師の略歴 】

◆福岡県博多区生まれ。九州大学医学部卒

◆医師(脳神経内科が専門)

◆関係団体の派遣で1984年パキスタンのペシャワールに赴任

ハンセン病を中心にパキスタン・アフガニスタンで医療活動に従事

◆干ばつによる飢餓や貧困が病気を蔓延させ、社会を不安定にして内戦にもつながっているという認識から、灌漑用水路の建設を計画。

地域の人たちを説得して、自力での工事を始める。

◆手探りの難工事の末、2010年、延長25キロを超える用水路が完成し、農業の再生が始まる。

◆さらに灌漑用水路を広げる取り組むなか、2019年12月、車で移動中に何者かの銃撃を受け、亡くなる。

■生前及び没後、アフガニスタン政府や日本国から受賞多数。アフガニスタン国民、政府から深い感謝と敬意を受け続けている。